



平和と独立を求める民衆の「決意」を伝える
神道ジャーナリズム誌

本号の内容 【主張】危機管理能力ゼロの安倍政権は退陣を（木川智）：
1 / 【連載】アジア放浪記―歴史を掘り起こし日本を見る―35―（仲村之
菊）：3 / 花瑛塾三月活動報告：5 / 【連載】葦津珍彦と神道ジャーナリ
ズム 「時の流れ」を読み解く3（鎌倉佐助）：7 / 【連載】記録沖縄戦
② 軍民・日米それぞれの視点から（沖縄戦史研究会「棒兵隊」）：9 / お
知らせ・編集後記：20

1部 1000円
（別途送料160円）

感染症の蔓延や経済危機を乗り切ることにはできない

危機管理能力ゼロの安倍政権は退陣を

神苑の決意 主筆 木川 智

【主張】前号小欄でも取り上げた通り、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界的な大問題となっている。日本国内でも感染は拡大傾向にあり、多数の死者が出ている。あらためて犠牲になった全ての方々に哀悼の意を表するとともに、現在感染症に罹患し治療されている感染者の方々にお見舞い申し上げる。また、医療従事者はじめ感染症対策に取り組む全ての方々の安全を祈念したい。

■ 海外の感染症の現状について

前号で感染症の問題を取り上げた際の情勢に比べると、現在は中国や韓国が感染症の拡大を抑え込んだといっている状況にある一方で、イギリスやアメリカでは感染症が爆発的に拡大しているような状況にある。

そうしたなか各国の感染症対策は、イギリスやアメリカあるいはイタリアやフランスがいわゆるロックダウンといわれるような徹底的な外出制限を実施している。イタリアは感染症が爆発的に拡大し、死者も多数出ているが、現在は感染症の拡大はピークを迎えており、ロックダウンは一定の効果があると

いっているのだろう。また、アメリカはPCR検査といわれる感染症の検査を徹底しているが、これについては韓国が既にPCR検査を徹底させた経緯があり、韓国が感染症の拡大を抑え込んでいるところを見ると、これもまた有効な対策だと考えられる。

ウイルスに国境も民族も人種もない。国境線となくやすい海や山といった自然環境は、ウイルスの蔓延に何らかの障害となることもあるだろうが、それは世界的に人や物が行き交う現代において、ほとんど意味をなさない。日本が特別にこうだということはありません、海外の感染症対策を徹底的に学び、良